

安房ゐのはな会 その2

青木 謹

はじめに

安房ゐのはな会は、特に会報を発行していたわけではないので、その歴史については知る由もない。僅かにゐのはな同窓会報に投稿された支部だより（支部便りでは最も多いとか）からうかがい知ることが出来るのみである。

当原稿は手許にあるゐのはな同窓会報第1号～第156号、千葉大学医学部八十五年史、同百周年記念誌、千葉大学三十年史、千葉県医師会史、安房医師会誌、安房医師会新病院開院記念誌を参考にしながら記述したものであるが、時日に余裕がなかったので検証が十分でない事をお許し願いたい。又、当原稿の主たる情報源はゐのはな同窓会報であること、そして昭和54年より平成12年まで幹事の一員であったので安房ゐのはな会について記録しており、それも参考にしている。最も参考にしたゐのはな同窓会報と安房医師会の事情を勘案して一応つぎのようなV期に分けて記述を進めることとした。

第Ⅰ期（昭34～昭37）

第Ⅱ期（昭38～昭53）

第Ⅲ期（昭54～平12）

第Ⅳ期（平13～平21）

第Ⅴ期（平22～ ）

別表

第Ⅰ期（昭34～昭37） 会長 高梨 清（明36）

ゐのはな同窓会報第2号～第14号に5回にわたり安房支部だよりは投稿されている。これは安房ゐのはな会及び安房医師会の中心的指導者 川名正義（昭5）館山病院副院長が千葉県医師会長（昭35～昭41）として君臨していた時で、千葉大学医学部との交流が多かったためと思われる。

（注：当時は安房医師会を館山市安房郡医師会、安房ゐのはな会を館山市安房郡ゐのはな会と称していたが、当原稿ではすべて安房医師会、安房ゐのはな会として記述を進める）

この頃の同窓会報は、支部便りが殆ど県単位のもので、小さな地域からの支部便りは安房のみであり、5回の投稿は最も多く、いかに安房ゐのはな会が活発に活動していたかがい知ることが出来

る。当時の安房ゐのはな会が、年2回、総会及び学術集会を開催しており、招請する教授は大物狙いで常に新任の学長、学部長、新教授、退官教授が多かった模様である。同窓会報によれば出席教授は、

昭和34年 綿貫 重雄 新教授

昭和35年 赤松 茂 教授

加賀谷勇之助 教授（退官教授）

昭和36年 荒木 直躬 新学長

谷川 久治 新学部長

と投稿されていたが、荒木、谷川両教授についてはお招きする予定とあり、昭和37年発行の第14号への投稿原稿には記述されておらず、恐らく公務ご多忙のため、おいで戴けなかったと思われる。昭和35年の加賀谷教授ご夫妻、赤松教授ご夫妻をお招きした時は、田村利男（昭7）館山市長の政治力発揮の場面で、館山市海辺に新築された市営ホテル鳩山荘の最初のお客様として泊まって戴いたという。その日開催されたゐのはな会は40余名の出席で盛会だったとのことである。この他、年2回ゐのはな会を開催していたとのことなので多くの教授の皆さんをお招きしていると思われるが記録はない。

この頃の有力会員の役職は次の通りである。

川名 正義（昭5）千葉県医師会長（昭35～昭41）

日本医師会代議員会副議長（昭33～昭39）

日本医師会代議員会議長（昭39～昭43）

田村 利男（昭7）館山市長

関谷 正一（大13）安房医師会顧問

和田 正系（大11）千葉大講師

安藤 建治（昭9）安房医師会会長

白幡 静夫（昭13）安房医師会副会長

鈴木 孝輔（昭6）安房医師会議長

第Ⅱ期（昭38～昭53）

この時期の安房ゐのはな会の支部報告は、同窓会報第15号～第61号まで残念ながら全くない。何が原因であるか判らないが、この頃共同利用施設病院及び検査センター（安房医師会病院）の設立に多忙を極め、他大学出身安房医師会会員との協調のため、ゐのはな会開催を遠慮していたのではないかと思われる。ちなみに当時の共同利用施設としての病院及び検査センター設立等の動きは、次の通りである。

昭37年 8月1日 共同病院及び検査センター設立
準備委員会発足
昭38年 2月20日 医師会病院設立の件、安房医師
会総会で承認
昭39年 6月1日 館山市安房郡医師会病院開院
昭43年 6月16日 胃集団検診始まる
昭46年 6月1日 高等看護学院開設

これらの事業を次々と成功させた先輩達は安房なのはな会どころではなかったかもしれない。しかしながら医師会病院、胃検診事業等のためには千葉大学の協力なくしては成功し得ないので、恐らくはなのはな会と銘打たずそれに近い会合は頻繁に開いていた可能性は大いにある。先輩達の言葉の端々に一外科綿貫教授、奥井先生のお名前は度々聞いている。

当時のなのはな会会員の安房医師会での役職を見ると、その活躍が偲ばれる。

川名 正義 医師会病院院長 (昭39～昭49)

安藤 建治 医師会長、病院理事長 (昭39～昭41)

白幡 静夫 医師会長、病院理事長 (昭41～昭45)

野原 宏 医師会長、病院理事長 (昭51～昭55)

そのほか、次に挙げるなのはな会会員が医師会役員(副会長、理事等)、病院役員として活躍している。

中原 毅 (昭16) 橋本 孝平 (昭17)

磯山 健一 (専20) 伊賀 多朗 (昭22)

伊藤 隆久 (専24) 小谷 庸 (専24)

柴田 耕三 (専24) 平澤 正夫 (昭24)

高木 達 (専25) 高尾 巖 (専25)

岡野 和夫 (専27) 今道 隆 (専27)

本位田泰介 (昭28)

また、当時病院常勤職員として千葉大学より派遣された医師は次の5氏である。(年月日は勤務期間)

手島 一 (専18) (昭39.10.10～平7.11.2)

能勢 匡夫 (専25) (昭41.6.10～平2.3.31)

原 久彌 (昭34) (昭40.1.10～昭41.3.10)

西川 義明 (昭34) (昭41.6.10～昭45.12.25)

本多 満 (昭37) (昭48.1.16～昭57.9.31)

原、西川、本多の3氏は当地域で開業し、引き続き安房なのはな会会員となっている。

安房医師会病院が漸く落ち着きを見せてきた昭和51年11月11日香月秀雄学長をお招きして安房なのはな会が開催された記事が同窓会報62号(昭和52年5月20日発行)に久しぶりに掲載された。(出席者26名)

第Ⅲ期 (昭54～平13)

昭和50年前後安房なのはな会は、年1回あるかないかで非常に不定期になっていて、そのことに危機感を持った柴田耕三(専24)、小谷庸(専24)青木謹(昭36)の3人が毎年定期的に開催できるようにしようと何回か会合を重ね、昭和54年1月27日に総会が開催され役員が選任された。

会 長 関谷 正一

副会長 安藤 建治

幹 事 橋本 孝平、柴田 耕三、小谷 庸
青木 謹

このとき、留任等の記録がないところをみると第一代高梨清会長以降は会長不在だったかも知れない。

昭和54年以降のなのはな会の開催状況は別表の通りで毎年開催されている。会員の高齢化、ご逝去が重なり、出席者が10数名となったが平成12年安房医師会病院のリニューアルオープンを機に千葉大学より若手医師が派遣され、再び安房なのはな会がにぎやかになった。



安房なのはな会 昭和55年2月13日 於:魚拓荘 鈴木屋



安房ゐのはな会総会 平成12年4月12日 於:みのや

青木が安房医師会長2期4年（平10年4月～平14年3月）在任中、新医師会病院の入札・建築、平成12年6月のリニューアルオープン、そしてその運営など多忙を極めたが、千葉大学第一内科、第一外科を中心に各科教授の皆さんのご好意で医師は順調に充足されていった。特に今まで開設されていなかった整形外科、泌尿器科の医師は学生時代からの付き合いの多かった守屋秀繁教授から3名、伊藤晴夫教授から1名の若手医師の派遣があり、どれほど心強く病院運営が出来たか言葉に言い表すことが出来ないほど同窓のよしみを感じたことはなかった。

第Ⅳ期（平13年～平21年）

安房医師会長の任期は2期4年が鉄則であったため、青木は平成14年3月会長を退任した。その後安房医師会役員にはゐのはな同窓会員は少なく、それに加えて安房医師会役員と安房医師会病院院長等との軋轢のため（他にも原因がいくつかあるが……）安房ゐのはな会先輩達が苦労して作り上げた共同利用施設としての安房医師会病院を平成20年4月に社会福祉法人太陽会に譲渡する破目になってしまったのである。そのために医師会病院の医師は離散し、今では旧医師会病院にはゐのはな会員は水谷正彦（昭52）安房地域医療センター長が唯一人残っているのみである。旧安房医師会病院医師で安房ゐのはな会会員として残ったのは3人で安房ゐのはな会会員は激減した。

第Ⅴ期（平成22年～）

安房ゐのはな会の会員は館山市、鴨川市、南房総

市、鋸南町に開業又は勤務している者で構成している。総会は第Ⅰ期、第Ⅱ期の頃は館山と鴨川で交互に開催されていたが、第Ⅲ期、第Ⅳ期になってから殆ど館山市で開催されていた。そのために鴨川からの総会への参加が少なく、特に亀田総合病院勤務医の参加は殆ど期待できなかった。しかし、最近では同病院に勤務する福武敏夫（昭56）、久保田基夫（昭57）、小石川比良来（昭59）、高梨潤一（昭63）の各部長を含め10名余りの会員数に増えたので、館山市と鴨川市の両方で交互に総会を開催し、交流を深めたいと考えている。

平成22年より安房ゐのはな会は、青木謹会長のもと、渡辺啓治（昭61）代表幹事を中心に関谷信平（昭38）、福武敏夫（昭56）、林宗寛（昭60）、辻博勝（平2）、天野晋（平3）武内重樹（北里、昭53）の皆さんが幹事となり安房ゐのはな会の更なる充実のために張り切っている。

なお、ゐのはな会会員で安房医師会会長に就任した人達は次の9氏である。

川名 正義（昭5）	昭19～昭22
和田千太郎（明42）	昭22
関谷 正一（大13）	昭27～昭31
安藤 建治（昭9）	昭37～昭41
白幡 静夫（昭13）	昭41～昭45
野原 宏（専17）	昭51～昭55
小谷 庸（専24）	昭59～昭62
本位田泰介（昭28）	昭62～平2
青木 謹（昭36）	平10～平14

（あおき ひとし）



安房みのはな会 平成23年6月22日 於：夕日海岸ホテル

安房みのはな会開催状況

(昭和54年以降) 敬称略

開催年	安房みのはな会会長	出席者数	招 請 教 授 等
昭54	関 谷 正 一	30	高見澤裕吉, 萩原彌四郎, 奥井 勝二
55	〃	25	稲垣 義明, 嶋田 裕
56	〃	31	佐藤 壱三, 牧野 博安, 奥井 勝二
57	〃	26	石川 清文, 村山 智, 中島 博徳
58	〃	25	藤村 眞示, 石川 清
59	〃		渡辺 昌平, 谷口 克
60	〃	22	吉田 亮
61	〃	22	岡本 昭二, 佐藤 研一, 水口 公信, 川名 正直
62	〃		井上 駿一
63	白 幡 静 夫	21	高橋 英世, 安達恵美子, 川名 正直
平 1	〃	16	大藤 正雄, 奥井 勝二
2	〃	18	守屋 秀繁, 若新 政史, 川名 正直
3	〃		
4	野 原 宏	16	佐藤 甫夫, 藤村 眞示
5	〃	13	山浦 晶
6	〃	14	栗山 喬之
7	〃	16	中島 伸之
8	〃	14	平澤 博之
9	〃	13	関谷 宗英
10	〃	16	今野 昭義
11	〃	13	河野 陽一
12	本位田 泰 介	21	田邊 政裕
13	〃	15	白澤 浩
14	〃	20	宮崎 勝
15	〃	20	古関 明彦
16	〃	18	伊豫 雅臣
17	〃	17	市川 智彦
18	〃	13	武城 英明
19	〃	16	横須賀 収
20	〃	12	寺澤 捷年
21	〃	12	松原 久裕
22	青 木 謹	15	織田 成人